

講座内容

従業員100名以下、多品種少量生産溶接加工業のロボット活用成功事例講座

第1講座

- 従業員数わずか15名!ステンレスTIG溶接と鏡面研磨のロボット化に成功した事例!
- 従業員数60名の鋁金・プレス・溶接加工会社が職人芸の溶接をロボット化に成功!
- 従業員20名の製缶・鋁金加工会社がゼロからのスタートで多品種少量生産の溶接ロボット化に成功!
- 従業員数10名の溶接加工会社がロボット10台をフル活用して生産性UP!
- 職人技術を要する多品種少量品をIOTを活用してロボット化に成功!

株式会社船井総合研究所 AIコンサルティング部 製造テクノロジーDXユニット リーダー 徳竹 勇兵



従業員数わずか15名!ステンレスTIG溶接と鏡面研磨のロボット化に成功した事例講座

ゲスト講師講座

第2講座

- 4,000万円の補助金を獲得して職人技術のTIG溶接と研磨をロボット化した成功事例講座
- 超大型投資を補助金を最大限活用してコストを抑えたポイントを解説
- 多品種対応のための「あえて」シンプルなシステムと治具構想とは
- 工数がかかる外観部分のパフ研磨をロボットで実現するための方法
- 社長から次世代へ、技術継承のカギとなる今後のロボット活用

クリエイティブワース株式会社 代表取締役 宮川 秀一 氏



多品種少量生産の溶接・研磨工程のロボット化・自動化戦略講座

第3講座

- 熟練業務・職人技術に依存した溶接・研磨工程のロボット化・自動化戦略
- 多品種少量生産の溶接・研磨工程のロボット化・自動化戦略
- 社長として自動化&ロボット化戦略を成功させるポイント

株式会社船井総合研究所 AIコンサルティング部 製造テクノロジーDXユニット リーダー 徳竹 勇兵



開催概要

- 講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。

開催日	2024年9月17日(火)	開催方法	オンライン開催
	2024年9月26日(木)		
	2024年9月27日(金)		
開催時間	13:00~15:00 (ログイン開始: 開始時刻 30 分前~)	お申込み期日	銀行振込み : 開催日 6 日前まで
			クレジットカード: 開催日 4 日前まで

受講料	一般価格	税込 11,000 円 (税抜 10,000 円) / 一名様	会員価格	税込 8,800 円 (税抜 8,000 円) / 一名様
	● 会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長 online プレミアムプラン (旧: FUNAI メンバース Plus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。			

お申込み方法



【QRコードからのお申込み】右記QRコードからお申込みください。



【PCからのお申込み】<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/117066> 船井総研ホームページ (<https://www.funaisoken.co.jp>) に
右上検索窓に「117066」をご入力し検索ください。

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。



展示会で紹介された成功事例です!

職人不足解消&技術継承! 多品種対応 溶接&研磨ロボット導入 社長セミナー

熟練者に依存した高難度の 溶接/研磨をロボット活用で自動化!

従業員数15名の会社が、4,000万円の補助金を獲得!



クリエイティブワース株式会社
代表取締役 宮川 秀一 氏



主催

多品種少量生産 溶接加工業社長セミナー

お問い合わせNo.S117066



サステナブルな成長を促す。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル



当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。→ 117066 Q)

多品種対応溶接&研磨ロボット導入! 職人不足解消&技術継承! 社長セミナー

事例その1: ゲスト講座

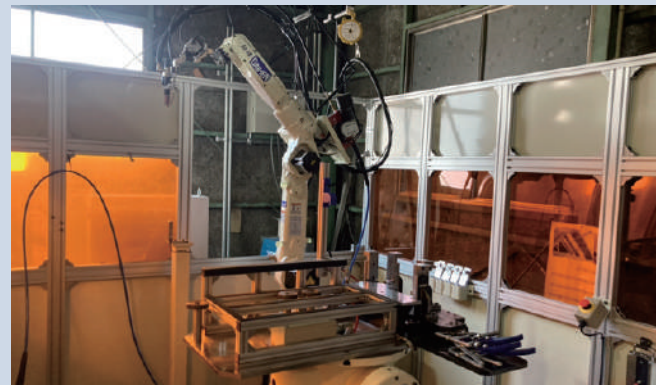
成功事例ゲスト講座

従業員数わずか15名! ステンレスTIG溶接と鏡面研磨のロボット化に成功した事例講座

- ◆ 4,000万円の補助金を獲得して、職人技術のTIG溶接と研磨をロボット化した成功事例講座
- ◆ 超大型投資を補助金を最大限活用してコストを抑えたポイントを解説
- ◆ 多品種対応のための「あえて」シンプルなシステムと治具構想とは
- ◆ 工数がかかる外観部分のバフ研磨をロボットで実現するための方法
- ◆ 社長から次世代へ、技術継承のカギとなる今後のロボット活用



実際の研磨ロボット



実際の溶接ロボット

特別ゲスト講師: クリエイティブワース株式会社 代表取締役 宮川 秀一 氏

事例その2

従業員数60名の板金・プレス・溶接加工会社が職人芸の溶接をロボット化に成功



事例その3

従業員20名の製缶・鋁金加工会社がゼロからのスタートで多品種少量生産の溶接ロボット化に成功!



事例その4

従業員10名の溶接加工会社がロボット10台をフル活用して生産性UP!



事例その5

職人技術を要する多品種少量品をIoTを活用してロボット化に成功!

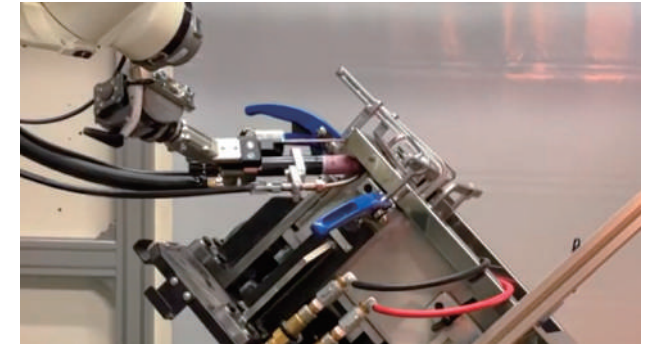


セミナー登壇企業インタビュー

クリエイティブワース株式会社
代表取締役 宮川 秀一 氏へ

インタビュー!

高難度の溶接&研磨作業の自動化に成功した「クリエイティブワース株式会社」ロボット活用の経緯や効果、社長の想いをお伺いしました。



▲ロボットが製品の溶接を行うところ
トーチが深く入り込むような動きも可能

導入経緯

徳竹 いつもありがとうございます。今回はクリエイティブワース株式会社のロボット導入についてお聞かせください。まずは、御社のご紹介をお願いします。

宮川 クリエイティブワース株式会社の宮川と申します。

当社は、平成14年、長びく不況の時代に創業しました。

板金加工だけでなく、プレス加工、金属切削加工、合成樹脂の切削加工、合成ゴムの加工など、取り扱える品目も年々増え、今では簡単な製品組立や治具製品に関する加工も行っています。

徳竹 ありがとうございます。続いて、ロボット導入に至った経緯を教えてください。

宮川 少し前の話になりますが、コロナウイルス感染症拡大の影響から、ロボット導入の検討を始めました。コロナ全盛期は2週間も出社できない状態になってしまい、その余波が非常に大きかったと記憶しています。作業者が休むことで仕事が止まり、納期遅延が大量に発生しました。

コロナの時期を通して、会社が職人に依存した状態であること、その人「しかできない仕事」が会社のネックになっていることに気がつきました。そのため、人に頼らずに生産ができるロボットを活用していく必要があると感じました。

徳竹 次世代への技術継承についてはどのように考えていますか?

宮川 持続的に考えると、人頼みで技術継承を行うことや、人に頼る生産は難しいと思っています。

今までは職人を育てよう、と思っていたんですが、人によつての込み込みの差が大きくなり、どうしても力量に差が出てしまいます。



▲実際にロボットで溶接・研磨した製品

いくらうまい人の作業をマニュアル化して教えようとしてもトップにはたどり着けないですし、育てようとしてもうまくできずに転職してしまうこともありました。職人を育てるのは難しく、最低でも5年はかかると思っていますが、弊社で扱っているステンレス溶接はさらに難易度が高いので、少し経験を積んだ程度では到底扱えないと認識しています。

よって、人の力量に頼らないかたちで技術を継承していく必要があると考えています。

導入効果

徳竹 実際にロボットを導入してみても、どのように感じていますか?

宮川 研磨工程では、1つあたり2〜3時間かけておこなっていた高い技術力が必要な研磨作業を、ロボットで自動化することができました。空いた作業員の工数を二品物などの高単価な製品の生産に使えるようになりました。

溶接ロボットは、溶接経験の無い担当者がオペレーターとして生産をしています。熟練の溶接職人しか生産できなかった製品を、今では溶接未経験者が熟練職人以上の品質で生産できるようになりました。

製品を製造していくためには、今までは職人が必要だと思っていました。しかし、ロボットを導入してみても、職人はいらぬのではと思ってしまったり、非常にうまく作業してくれています。職人がいらぬかもしれない、ということを確認したくない自分もいますが、認めざるを得ない自分もいる。そんな気持ちです。

今後事業を継がせる息子には、溶接技術ではなくロボット技術を習得して欲しいと考えています。いろいろな仕事をロボットに置き換えていく技術をもってもらいたいと思っています。



クリエイティブワース株式会社
代表取締役 宮川 秀一 氏